

平成28年度宮之城歴史資料センター特別展

川内川回顧展

—防災と復興のあゆみ—



水害時の救助の様子(平成18年)



平成18年豪雨災害復興祭(平成25年)



水天向遺跡作業風景(平成21年)

特別講演(※午前中の入館は無料になります。)

・8月11日(木)(9:30~11:00)

「平成18年出水と再度災害防止」

講師:川内川河川事務所職員

・8月28日(日)(9:30~11:00)

「川の民俗」

講師:鹿児島純心女子大学教授 小島 摩文

会場:宮之城歴史資料センター・研修室

講演終了後、展示解説を行います。

(12時まで)

平成18年7月の県北部豪雨災害より今年で10年が経過しました。今回の展示は、さつま町でかつて起きた水害とその復興について展示し10年の歩みをふり返っていただければと思います。また各市町村で実施された川内川流域の発掘調査の成果も展示しています。川内川と共に栄えた人々の暮らしの様子をご覧ください。

展示期間

平成28年7月22日(金)~平成28年9月11日(日)まで

開館時間:午前9時~午後5時

(午後4時30分までに入館)

休館日:月曜日

(月曜日が祝日の場合は翌日)

入館料

一般210円(160円)

小・中学生100円(50円)

未就学児 無料

()内は20名以上の団体料金

激特事業関連発掘調査成果

川内川激甚災害対策特別緊急事業に伴い、川内川流域の各市町村で実施された埋蔵文化財発掘調査の成果の一部を出土品やパネルで紹介します。

川内川激甚災害対策特別緊急事業に伴い調査された遺跡

遺跡名	所在市町村	中心となる時代
水天向遺跡	さつま町	縄文時代・古墳・古代
虎居町武家屋敷跡	さつま町	近世
虎居城跡	さつま町	中世
二渡船渡上ノ遺跡・山崎野町跡 A	さつま町	縄文時代・弥生～中世・近世
下鶴遺跡	伊佐市	弥生・古墳
下ノ原 B 遺跡	伊佐市	縄文時代・弥生古墳
下殿瀬ノ上遺跡	伊佐市	縄文時代
坂ノ下遺跡・後ヶ原遺跡	薩摩川内市	縄文時代
小鹿倉城跡・楠元城跡	薩摩川内市	縄文時代・古代・中世
司野下遺跡	薩摩川内市	縄文時代・古代・中世

川内川と人々の関わり

川内川沿岸では多くの民話や伝承も伝えられてきました。めまぐるしく変わりゆくかつての水辺の景色や、長く語り継がれてきた民話とその舞台をご紹介します。



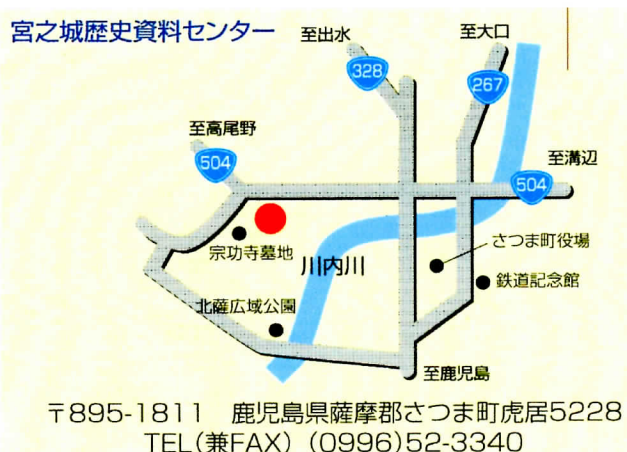
宮都大橋上流の渡し舟（昭和31年頃）



湯田温泉場（昭和37年頃）

水害と復興のようす

さつま町をはじめ川内川流域の地域は水害による被害を受けながらも地域住民の絆と防災・減災を目指した町づくりを目指して復興を果たしてきました。ここでは昭和47年と平成18年の水害について被災の概要とその後の復興の取り組みについて紹介します。



〒895-1811 鹿児島県薩摩郡さつま町虎居5228
TEL(兼FAX) (0996)52-3340

おもな関係協力機関 川内川河川事務所・鹿児島県立埋蔵文化財センター・他